

# 日本食糧新聞

The Japan Food Journal  
**日本食糧新聞社**  
 東京都中央区八重洲1-9-9建物ビル  
 〒103-0028 電話03(3271)4815(代)  
 FAX03(3271)4818  
**◀編集・広告・購読▶**  
 東京都港区西新橋2-21-2  
 第一南桜ビル(〒105-0003)  
 ☎03(3432)5700(大代表)  
 編集・広告FAX03(3432)4888  
 購読 FAX03(3578)9432  
 ホームページアドレス  
<http://www.nissyoku.co.jp/>

## 「SSMS」運用支援を開始

### サプライチェーンセキュリティシステム システコ・インターナショナル

カナタのマネジメントシステム審査機関、QM Iの日本支社である物システコ・インターナショナル(03・3729・1109)は、田村元代表は、今月、食品輸入事業者などを対象に、物流での製品安全性を確保するサプライチェーンセキュリティシステム「SSMS」の運用支援を開始した。サプライチェーンの保安管理システム「ISO/PASS8000」をベースにしたもので、海外工場の出荷工程から、コンテナ積込み、輸送・保存など、消費者までのプロセスを総合的に管理することにより、輸入製品を安全な状態で届ける仕組みをつくることである。

支援は1日移動セミナー、2日間セキュリティ要員養成などの教育プログラムから実際のシステム構築、運用指導を含めてカバーする。同社とユーザーとが共同作業で導入を進めていく「パナシーションチーム方式を採用する」ISO/PASS8000に沿ったサプライチェーンセキュリティシステムを効果的に構築。その後、QM I JAPANから認定証発行となる。

主にISO22000やHACCPシステムなどが知られており、国内でも運用している企業は多い。だが、いずれも製造現場が中心で物流全体を国際的な基準のもとで保安管理できるシステムは、まだ存在しない。ISO/PASS8000

1は、あらゆる業界のサプライチェーンを対象に、物流全体のセキュリティを実施するための「優良実施要項」評価および計画で、こうした分野でのISOシステムは初めて。現在は制定までの中間段階である。

AS(公開仕様書)だが、早ければ年内にもISO9001や同22000のような国際標準規格として正式発行される見通しだ。こうしたセキュリティシステムの運用は原則、企業レベルでの規制はない。国家レベルでの規制についても、共通の要求事項があるための対応をとりやすくするための対応をとりやすくする。

同社は、ISO/PASS8000システムを構築後、C-TPATの要素を取り入れることで、世界で通用する包括的なMSを運用する事が可能になるとしている。

(谷本健二)